



命を守るために



十四日に第一回目の避難訓練を行いました。進級したことで、教室も避難する経路も変わりました。どこを通って避難すればよいかを確認することがおもな目的でした。もちろん、地震や火災が起きたときの身の守り方も確認しました。「地震や火災はいつ、どこで起こるかわかりません。」

みなさんは、地震だとわかったときどんな行動をしましたか。実際に地震が起きたら、自分の身を守るために三つの行動が大切だといわれています。それは、『まず低く、頭を守り、動かない』です。

また実際の火災が起きたら、『火災が起きている場所から離れること』が大切です。そのためには、どこで火災が起きているのか、先生の指示をしっかりと聞くことが

文責 本宮小校長 佐久間仁

大切です。それが自分だけでなく、まわりの人の命を守ることにともなわれます。

そして、避難のときの合い言葉は「お(おさない)・か(かけない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)・ち(ちがつかない)」です。合い言葉が守られたか教室で振り返ってみましょう。」

ご家庭でも、いざというときの身の守り方や避難の仕方を話し合っていたかどうかお願いします。



自分にできることを

「おはようございます」
「おはよう」



毎朝、昇降口では、代表委員の子どもたちの元気なあいさつの声が響いています。南校舎では、二年生があいさつボランティアをしています。誰かに言われてするのはなく、自分たちから率先して行動しようとする意気込みが伝わってきて、見ていてこちらもさわやかな気持ちになります。

高学年の子どもたちは、係や委員会活動として、花壇の水やりや草むしり、廊下のモップがけ、下駄箱の靴ぞろえなど、朝の時間を有効に使って活動をしているのを目にします。昼休みには、ほこりがたまった廊下や階段を掃き掃除する子どもたちもいます。友達と声を掛け合いながら、楽しそうに活動する姿は微笑ましいです。

自分の役目を自覚し、責任を果たそうとする姿、学校や学級・学年のみんなが気持ちよく生活するために、自分にできることは何かを考え、行動する姿に、高学年としての自覚と誇りを感じます。

これからもこうした姿を大切にしていきたいと思います。



楽しい連休に



いよいよ二十六日からゴールデンウィークが始まります。安全で楽しく、有意義な休みとなるよう、各学級で事前の指導をしました。ご家庭でもご指導ください。

【健康・安全】

○自転車乗りの約束を守る(範囲、ヘルメットなど)

○感染症などの予防をする(うがい手洗い、消毒、マスクなど)

【けじめのある生活】

○規則正しい生活をする(早寝早起き朝ご飯、十分な睡眠など)

○ゲームやネット、テレビなどの約束を守る

【ルール・マナー】

○お金、ゲームの貸し借りをしない

○悪いこと、迷惑をかけることをしない(万引き、公共の場での危険な遊びなど)

※事故などの緊急時は、学校又は「リーバー」にご連絡ください。

明日は授業参観です

子どもたちが生き生きと学習に取り組む様子をご覧ください。総会、懇談会にもご参加ください。なお、節車へのご協力をお願いします。